

動物実験に関する検証結果報告書



神戸女子大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

平成 31 年 3 月

平成 31 年 3 月 14 日

神戸女子大学

学長 中島 實 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会

理事長



対象機関：神戸女子大学

申請年月日：平成 30 年 7 月 27 日

訪問調査年月日：平成 30 年 11 月 15 日

調査員：長尾静子 (藤田医科大学)

#### 検証の総評

神戸女子大学は、昭和 15 年に神戸新装女学院として設立後、須磨およびポートアイランドキャンパスに、4 学部 (文学部、家政学部、健康福祉学部および看護学部)、大学院および専攻科で構成される私立大学である。須磨およびポートアイランドキャンパスにそれぞれ飼養保管施設があり、マウスおよびラットを対象に動物実験が行われている。「神戸女子大学動物実験規程」のもとで、動物実験委員会が組織され、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価等が文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針 (以下「基本指針」という。))」に則しておおむね適正に実施されている。学内の飼養保管施設は基本指針および環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準 (以下「飼養保管基準」という。))」に則して実験動物の飼養保管および動物実験が適正に行われている。一方、実験動物管理者の職務は適切に行われているが、動物実験規程において定義されていないため、早急に定義を明記されたい。また、情報公開の URL が 2 か所に分けられていることから、今後統一し項目についてもより一層充実されたい。将来、遺伝子組換え動物の利用を想定し、規程の整備と施設の充実を計画されていることから、的確に進められたい。以上の点を総合的に判断すると、神戸女子大学における動物実験は、おおむね適正に管理・実施されている。飼養保管施設の良好な管理体制を維持し、適正な動物実験の実施が継続されることを期待する。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「神戸女子大学動物実験規程」が定められており、その内容は基本指針に則したものである。しかしながら、一部に記載がない項目があることから、機関内規程について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
「神戸女子大学動物実験規程」に実験動物管理者の定義および実験動物の飼養及び保管の項目の一部に記載されていないため、早急に記載を検討されたい。機関の改善の方針に挙げられている「緊急対策マニュアル」の充実も計画に沿って進められたい。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「神戸女子大学動物実験規程」、「神戸女子大学須磨キャンパス動物実験委員会規程」および「神戸女子大学ポートアイランドキャンパス動物実験委員会規程」において基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。

<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見 全学の動物実験委員会が動物実験計画書の審査等を一括して行っている。一方、キャンパス毎に設置されている2つの動物実験委員会は、動物実験計画書の審査には関与せず、飼養保管施設の管理・運営を行っている。このことから、実体に即した名称に変更あるいは組織図内に役割を明記することを検討されたい。

### 3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「神戸女子大学動物実験規程」、「神戸女子大学動物飼育室利用内規」および「神戸女子大学動物飼育室利用マニュアル」のもとで、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定されており、これらの手続きに必要な様式も整備されている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験計画書内に安全管理を要する動物実験を選択する項目があるが、現在、行われていない。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、「該当する動物実験の実施体制

<p>が定められているが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「該当する動物実験は、行われていない。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>今後、遺伝子組換え動物を用いる実験に関する規程を策定予定であることから、計画に添って進め、規程策定等の準備が整ってから当該実験を開始されたい。</p>

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼養保管施設において管理者および実験動物管理者が定められ、基本的な管理体制が整備されている。年間使用数を把握する体制は整っているが、正確な飼育数を把握する体制を整えるために実験動物搬入・搬出管理票による管理を計画しているところである。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>現在、実験動物管理者が年度毎に実験動物数を把握しているが、今年度から実験動物搬入・搬出管理票を作成してより正確に飼育数の管理を行うことを予定しているので、計画通りに進められたい。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

2 つのキャンパスは離れているが、テレビ会議等で統一化を図ろうとする努力が認められることから、今後も是非統一化を推進されたい。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会により動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の視察、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

### 2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の審査が行われ、平成 29 年度には 29 件の計画が承認された。動物実験結果報告書（実施結果報告書）の提出率は 100%である。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 これまで提出された動物実験結果報告書（実施結果報告書）の内容は適切であったが、今後、より厳密に動物実験結果報告書（実施結果報告書）の検証を行う予定としていることから、計

画通りに進められたい。

### 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

該当する動物実験は行われていないため、安全管理を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。

### 4. 実験動物の飼養保管状況

#### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 2) 自己点検・評価の妥当性

実験動物飼養保管状況の自己点検票によって飼養保管施設は動物実験委員会により把握されている。実験動物管理者の下で概ね良好に、実験動物飼養保管基準に従い飼養保管が実施されている。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

#### 3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

#### 4) 改善に向けた意見

特になし。



5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
2 つの飼養保管施設は共に補修や改修が行われており、施設部の協力を得ながら適切に維持管理されている。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験委員会による教育訓練が実施され、平成 29 年度の教育訓練受講者は 331 名である。教育訓練の実施記録や受講者の記録等は整理・保存されおり、訓練内容も概ね妥当であった。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
2 つのキャンパスで開催されている教育訓練の内容の統一化を図ることを計画していることから、計画通りに進められたい。また、人獣共通感染症についてもさらに内容を充実されたい。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>基本指針に則した自己点検・評価が適正に行われており、大学ホームページに神戸女子大学動物実験規程、神戸女子大学須磨キャンパス動物実験委員会規程、神戸女子大学ポートアイランドキャンパス動物実験委員会規程、動物実験計画書、動物実験実施者申請書、動物実験結果報告書（実施結果報告書）および実験計画審査数一覧の情報が公開されている。しかしながら、自己点検・評価の結果、実験動物の飼養保管状況、前年度の教育訓練の実績および動物実験委員会等が公開されておらず、内容の一部不十分な部分がある。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>情報公開が 2 か所にわたることから、統一することを検討されたい。また、情報公開の項目の一部を追加されたい。</p>

## 8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>将来に向けて、関連委員会との連携を計画し、2 つのキャンパスで開催されている教育訓練の内容の統一化を図る等、適正な動物実験の実施に向けて前向きに取り組んでいる。今後もより一層これらの取り組みを推進されたい。</p>
--